

得意技は、
メー!

次世代 HERO

Next Generation's Hero

第17回 全日本都道府県対抗少年剣道 優勝大会出場

山の田少年剣道部スポーツ少年団所属
まがたに りつき
曲谷 律希 さん



剣 道全国大会の山口県代表として、選手5人のうち唯一下関から選出された豊浦小学校6年生の曲谷律希さんを紹介します。

この大会は団体戦で、曲谷さんは試合の分かれ目にもなり得る重要な役割の中堅。強者と一本を取り合いました。「全国大会のレベルは高く、プレッシャーはいっぱいありましたが、『始め!』の合図で気持ちを切り替えることができました。全国には相手を誘い出す(打ち

込ませる)のが上手な選手がいて、勉強になりました」と大会を振り返る曲谷さん。

指導者で父の知之さんと同じく、竹刀を握ったのは3歳の頃。通常の練習に加え、体育館を借り、親子での指導稽古もしているそうで、「1対1のできるから、ちゃんと指摘してもらえる。父のように自分も剣道ができて、人にも教えられるようになりたい」と話してくれました。



▲県剣道ジュニア強化訓練員認定証



市有林の間伐材で作った名札

しものせ木 下関産木材の 活用促進を



市長コラム 希望の風 市長の部屋

皆さんこんにちは！ 前田晋太郎です。この3月号で、市長2期目のちょうど折り返しです。6年間毎月欠かさずコラムを書き続けてきましたが、これからも続けていきたいと思えます。いつも応援ありがとうございます！

今回は下関産の「木材」についてお話しします。私は「下関が元気になるには一次産業の発展が絶対必要!」と行ってきました。一次産業と言えば、まずは農業や漁業が思い浮かぶと思います。でも皆さん忘れないでください。一次産業には「林業」も含まれていますよね！

林業を応援するって、どういうことが考えられるのだろうか。そこで私たちは、地元の人による下関産の木材を使った「木工製品」の開発を市が応援する事業をスタートしました。令和4年に始めて、現在2者の市内業者さんが取り組んでくれています。完成した製品は、近い将来皆さんに公開する予定です。

最近では、下関産の木材で市役所の名札を作ったとの報告を受けたので、早速、部長全員に配付し、12月から使用することとしました。もちろん私も使っていますよ！

市も製品のPRをお手伝いし、販路開拓、販売促進につなげて、下関産の木材を積極的に使う流れを少しずつ作っていきたくと考えています。皆さんご理解ご協力をお願いいたします。